

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

			管理No.
施設の名称	山形県男女共同参画センター	指定管理者	公益財団法人山形県生涯学習文化財団
	所在地	山形市緑町一丁目2番36号	県担当課 しあわせ子育て応援部 多様性・女性若者活躍課 023-630-2262
	指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日	
	検証期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日	
		(電話番号)	

検証項目	指定管理者による自己検証	県(施設所管課)による評価・検証
------	--------------	------------------

1 仕様書等に沿った管理・運営業務の履行状況

① 管理・運営業務の履行状況	○業務全般にわたり包括協定書、基準仕様書等に従い、県と協議しながら事業計画を適正に執行することができた。 ○市町村や地域で活動する女性団体、チェリア塾修了生等と連携を強化し、山形県男女共同参画推進員や市町村行政も含めた「市民協働」による普及啓発事業の展開を目指して各種事業を進めた。 ○男女共同参画社会づくりを目指している団体・グループの活動発表等を目的として開催している「チェリアフェスティバル」を、初めて全国女性会館協議会第68回全国大会と合同して2日間実施し、延べ1,250人を超える来場があった。 ○全国大会の開催にあたっては、50を超える企業・団体などを訪問して男女共同参画推進の必要性等について説明し、協賛を募り収入を確保するとともに、理解のある企業との関係構築を図り今後の活動への足がかりとした。 ○男女共同参画に関して、一般相談、男性相談、臨床心理士によるこころの相談、弁護士による法律相談を実施した。	評 価	《評価の理由》 ○地域連携強化事業や女性の人材育成事業等を通して「市民協働」につながる事業展開が行われるなど、評価できるものである。 ○「チェリアフェスティバル」に合わせて、初めて全国女性会館協議会全国大会を開催し、来場者や協賛の確保に努めたほか、企業・団体との関係構築を行うなど、男女共同参画の普及啓発や地域連携に関し効果的に事業を実施している。
		A	
② 管理・運営上の課題、問題点（改善すべきこと）	○登録団体の高齢化が進み、これまでセンターの活動を共に推進する役割を中心となって担ってきた団体の参画状況が低下してきた。一方で、新たな団体・グループの参画も見られることから、円滑な新陳代謝や大学生など若年層の人材養成を進めていくことが必要である。 ○市町村の男女共同参画担当課等は、体制的・予算的に脆弱であることから、県（チェリアを含む）・市町村・山形県男女共同参画推進員等がそれぞれの持つ特性や資源を活かし、連携して推進していくことが重要であるため、地域連携強化事業等の活用を一層促していく必要がある。	《課題等の原因分析》 ○女性の人材育成事業等において、新たな人材の育成を図っている。次代を担う人材の育成には一定程度の期間を要するため、継続的な取組みが必要である。 ○男女共同参画計画の推進や男女共同参画施策に係る姿勢や取組みには、依然として自治体間で温度差があるので、県と連携した促進が必要である。	
課題、問題点への今後の対応	○地域における男女共同参画の推進を担う人材や団体・グループの育成を引き続き行う。 ○市町村との連携を一層強め、県が委嘱している山形県男女共同参画推進員を活用するなど、男女共同参画計画の着実な推進や地域の男女共同参画推進の取組みを拡大・強化していく必要がある。		

2 利用者からの要望等への対応

① 意見・要望等及び その対応状況	○当日の設備使用など利用者からの要望には即時、柔軟に対応している。 ○意見等を事業に反映させるべくアンケートの実施や企画運営委員会を設置しているが、特段の改善を求める意見等はなかった。 ○企画運営委員会において、企業とそのトップや、高校生を含めた若年層への働きかけが重要との意見があり、令和7年度において「推進員出前講座」の企業派遣や「ユースリーダー養成講座」を実施することとしている。	評 価	《評価の理由》 ○アンケートの実施や企画運営委員会の開催に加え、利用者からの要望に即時に対応するなど、県民からの意見を取り入れる体制がとられている。なお、令和7年度からは企画運営委員会の意見を踏まえ、出前講座の企業への働きかけやユースリーダー養成講座にも取り組むこととしている。
		A	
意見・要望等への 今後の対応	○県民サービスの更なる向上に向けて、引き続き各分野から選定した企画運営委員からの意見等を効果的に反映させるとともに、参加者アンケートの実施等により利用者の意見・要望等を把握し、適切に対応していく。また、若年層への働きかけについてもより一層積極的に取り組んでいく。		

3 指定管理者制度活用の効果

① サービスの向上	○ホームページやSNSを活用した情報の適時、適切な提供に努めアクセス数等の増加を図るとともに、随時、委託先と打ち合わせを行いながら、リンク先や掲載情報等の点検を行い最新情報への更新、バナーなど閲覧しやすくする工夫を行っている。 ○広報誌「チェリア」の発行に当たっては、編集に関わっていただく広報委員を公募し、県民視点の分かりやすい誌面とするよう心がけている。 ○当日の設備使用など利用者からの要望には即時、柔軟に対応している。【再掲】	評 価	《評価の理由》
		B	○ホームページやSNSを活用したオンタイムでの情報発信を行っているほか、年3回発行される広報誌「チェリア」については、外部からの意見を取り入れるなどより良い情報発信を行うための工夫がなされている。また、男女共同参画週間におけるラジオを活用した広報活動など、様々なツールによる幅広い世代への働きかけを行っている。
② 経費の節減	○不要な照明や昼休みの事務室の消灯、メール活用による電話代や郵送料等の節減、用紙の裏紙利用等を励行している。 ○簡易なチラシについては内製するよう努めている。 ○登録団体や関係機関への送付物については、できる限りまとめるなど計画的な配付に努めている。 ○全国大会の開催にあたっては、39の企業・団体、個人から協賛金や寄附金を募り財源を確保した。	評 価	《評価の理由》
		A	○自前印刷や節電などにより各種経費の節減を図り、効果的な経費の活用に努めている。また、全国大会の実施にあたり、多くの企業・団体や個人から協賛金や寄附金を集め財源を確保し、効果的な事業運営に努めた。
③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)	○県内4地域ごとの状況に応じたきめ細かい対応によりチェリア塾修了生を中心としたネットワークの形成を進めており、ネットワークによる事業企画が進められている。 ○団体やグループが企画実施する各種講座等の事業を支援し、県民参加の拡大等を図っている。 ○企業で働く女性を対象に職場で活躍するためのビジネススキルを学ぶ「キャリアアップセミナー」を開催している。 ○男女共同参画の推進のためには企業及び企業トップへの普及啓発が重要となってきたことから、全国大会への協賛募集を機会に企業等を訪問して説明・働きかけを行った。	評 価	《評価の理由》
		B	○地域ごとのネットワーク形成や関係機関・団体の取組への積極的な支援を行っているほか、女性の就労支援や人材育成に取り組んでいる。
総合的な評価		○県民参加・協働を重視したサービスの向上が図られ、効果的な事業運営と管理運営が行われていると認められる。県と指定管理者が連携し、適切な管理・運営が行われている。	

【評価指標】

- A：仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
- B：概ね適正に実施されている。
- C：部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
- D：仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注）検証項目については、施設の特性等に応じて適宜追加することができるものであること。